

資料 3

新松田・寄便の神山経由の取り扱いについて

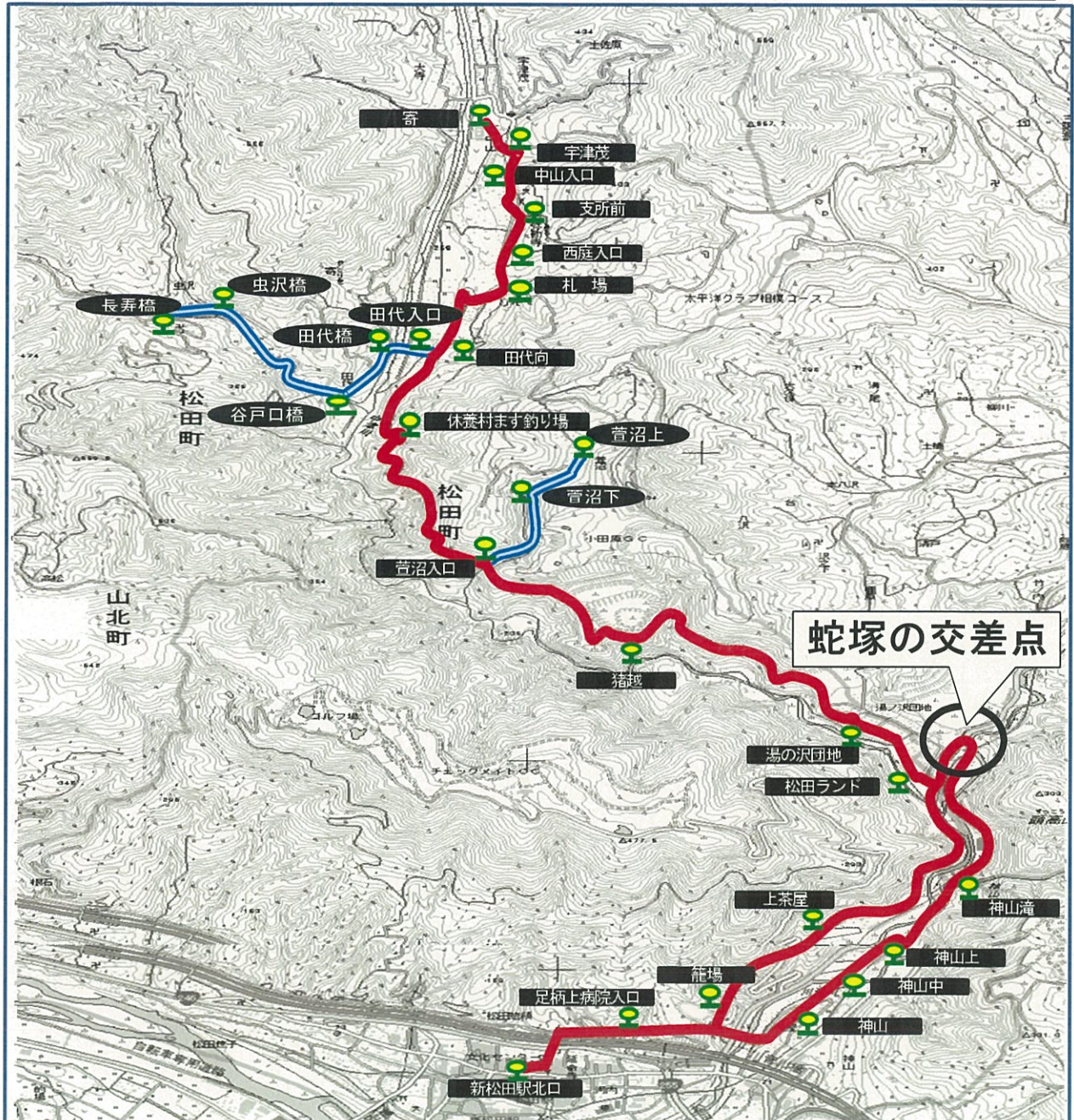
昨年の松田町地域公共交通会議で、議題にあがった神山経由の取り扱いについて、富士急湘南バスより、「蛇塚の交差点での安全面での懸念」と、「乗降人員の少なさ」から、廃止の意向が示されました。

それを受けて、神山自治会への意向の確認と、交差点付近の道路の幅の確認などを町が行いました。

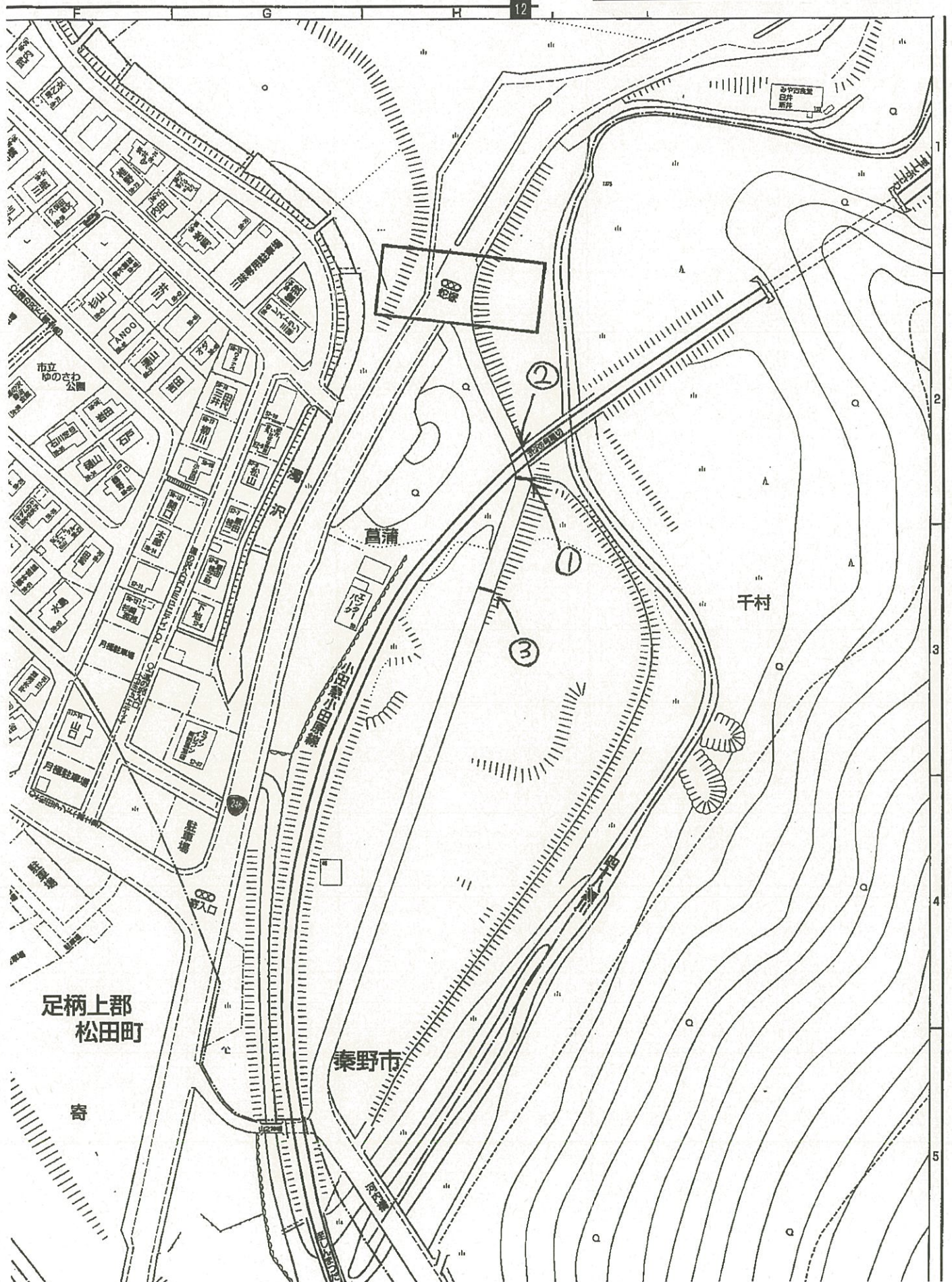
- ・資料 3-1 神山経由路線図
- ・資料 3-2 地図
- ・資料 3-3 平面図（道路幅）
- ・資料 3-4 写真（蛇塚）
- ・資料 3-5 写真（踏切付近）
- ・資料 3-6 昨年度公共交通会議資料「新松田・寄便の神山経由の取り扱いについて」
- ・資料 3-7 神山地区対象アンケート結果
- ・資料 3-8 昨年度公共交通会議議事録

路線図

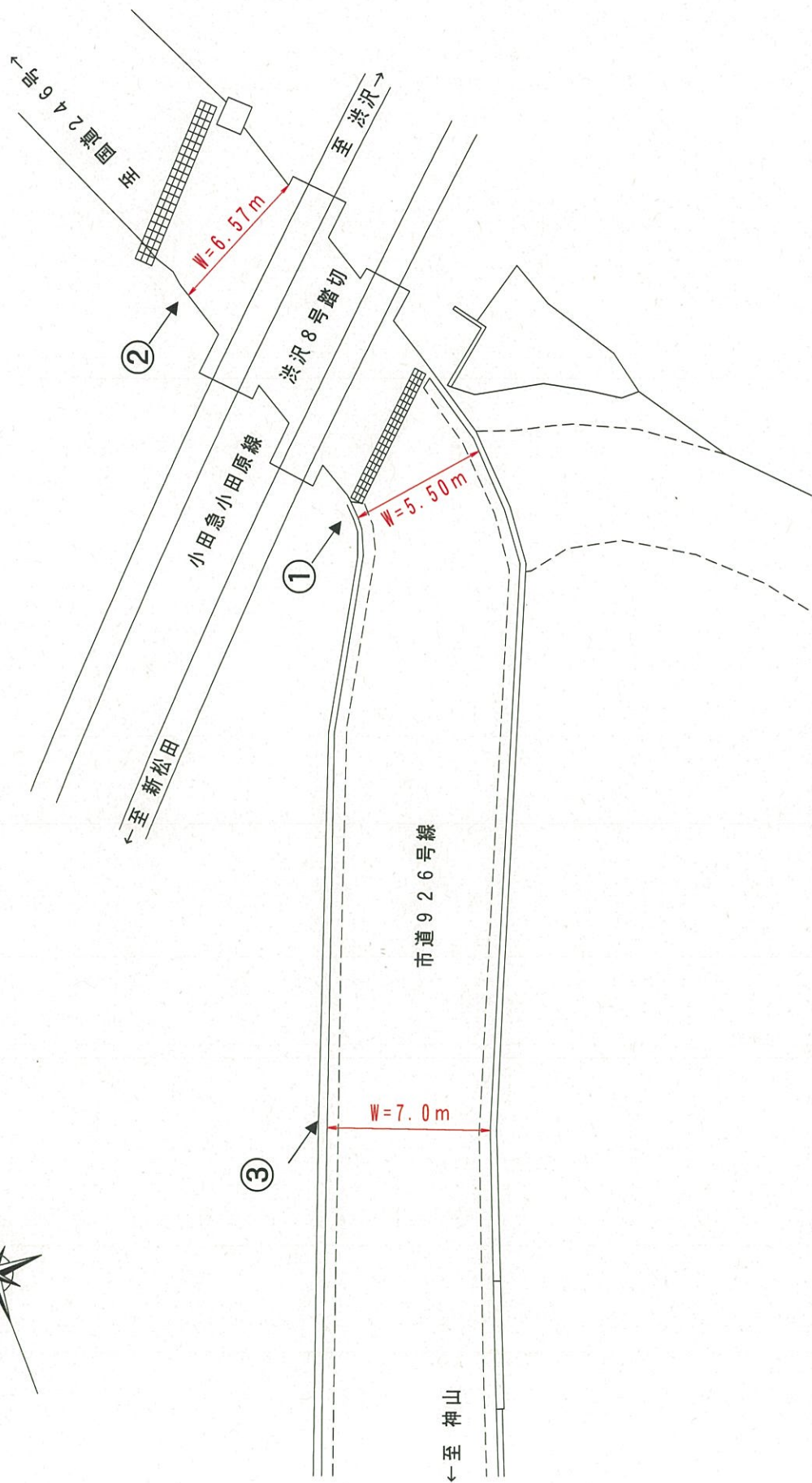
資料3-1



資料3-2



渋沢 8 号踏切付近平面図





撮影日: 6月 2015 © 2017 Google 日本

津島市, 神宮川橋
Google, Inc.

ストリートビュー - 6月 2015



渋沢8号踏切付近現況写真



神山側より秦野方面を望む



秦野側から神山方面を望む

新松田・寄便の神山経由の取扱い

1 前提

- 「蛇塚の交差点で、踏切方向から来る大型トラックと対面したため、バスとトラック双方ともに身動きが取れなくなった」との報告が町にあったことから、富士急湘南バスに調査を依頼。
 - 富士急湘南バスとしても、課題として認識しており、神山経由をやめて、籠場経由1本にしたいという意向がある。
 - 町からの要望があつて、神山経由としているが、狭い道路を通行しなくてはならない上、利用実態も少ないのが現状である。籠場経由だけにすれば、「運行時間も5分早くなり、利用者の利便性も向上する」との回答を富士急湘南バスよりもらっている。
- ※ 処分場が蛇塚の交差点付近に移転予定であるため、今後、大型車の往来が激しくなり、バスと大型車のすれ違いにかかるリスクは増えてくると想定される。

2 現状の神山経由の運行本数

【新松田駅→寄】

分類	内訳	合計
平日	6便/1日×5日(月曜日～金曜日)	30便
土休日	6便/1日×2日(土曜日、日曜日)	6便
土曜日のみ	2便/1日×1日(土曜日のみ)	2便
合計		38便

【寄→新松田駅】

分類	内訳	合計
平日	6便/1日×5日(月曜日～金曜日)	30便
土休日	6便/1日×2日(土曜日、日曜日)	6便
土曜日のみ	2便/1日×1日(土曜日のみ)	2便
合計		38便

3 乗車人員の乗降調査結果(別紙参照)

- 9月5日から9日の間に、「神山」、「神山中」、「神山上」、「神山滝」で乗降調査を実施。
 - I) 新松田駅→神山→寄線：5日間の総合計は乗車人員0人、下車人員13人。
 - II) 寄→神山→新松田駅線：5日間の総合計は乗車人員13人、下車人員7人。

4 対応方針(案)

- (1) 神山経由を廃止し、籠場経由1本とする。
- (2) 神山経由の本数を少なくし、籠場経由の本数などを増やす。
- (3) 現状維持とし、利用実態を踏まえ、廃線を含めた検討を継続して行う。

以上